



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT
TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y's Men's CLUB

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

「当クラブは町田市社会福祉協議会が奨励する“わくわくサロン”の公認団体です」



2021年
5月号 (第25号)

THE SMILE-RING Chartered in Feb. 20

今月の聖句

主は人の一步一步を定め、御旨にかなう道を備えてくださる。人は倒れても、打ち捨てられるのではない。主がその手をとらえていてくださる。

《モットー》

『強い義務感を持つ 義務は全ての権利に伴う』
国際会長 ヤコブ・クリステンセン(デンマーク) 「命の川を信じよう」
アジア・太平洋地域会長 デビット・ルア(シンガポール)

“変化をもたらそう！”

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩) 「変化をたのしもう！」
東新部部长 加藤義孝(東京) 「友情の絆を強め YMCA を支えよう」

クラブ会長 為我井輝忠 「感謝、信頼、地固め、そして成長！」
[クラブ役員]直前会長 太田勝人 書記 尾張日出夫
担当主事 諏訪治邦

【5月の巻頭言】 為我井輝忠

新緑の5月を迎えました。
一年中で季節として最も素晴らしい時



期です。例年ならば大型連休の休みを利用してあちこちを旅行していましたが、2年連続で昨年も今年もそれは叶いませんでした。外に出かけることもなく、家で隠者のようにひっそりと静かに過ごしてきました。

昨年は家の周辺を散歩したり、読書や音楽を聞いたりして、それまでの忙しい生活から離れて静穏な生活を味わうことが出来、それなりに充実していたと言えるでしょう。散歩の折には今まで目を向けることがなかった道端の小さな草花の美しさにも気がつきました。小さな草花にも命が宿り、懸命に生きている。正に大きな発見でした。

今年もそんな小さな発見を求めて周辺を歩いてみました。遠出を諦めた代わりにせめて近所でもと思い、近くにあるいくつかの神社に足を延ばしてみました。名も知らぬ神社の歴史を語る古い碑文に思わぬ発見をし、かつてのこの地域に栄えた人々の足跡に思いを馳せたり、古びた街道の面影を知ることもしました。

正直、長い間家にいると損をした気分になることがあります。

2021年5月例会プログラム

日時:2021年5月19日(水)19:00~20:30

会場:Zoomにて開催します。

(下記 URL をクリックしてご入場下さい)

<https://us02web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYlJYMG0vMXNyZWZicFpzY1JUUT09>

- | | |
|----------------|----------|
| 司会 | 尾張日出夫 |
| 1. 開会点鐘 | 会長 為我井輝忠 |
| 2. ゲストとビジター紹介 | |
| 3. 諸報告など | 太田 勝人 |
| 4. 卓話「私の山と百名山」 | 尾張日出夫 |
| 5. 閉会点鐘 | 会長 為我井輝忠 |

※ ZOOMにつき一部省略させて頂きます。

※ 事前にクラブ事務局へお申込み下さい。

そこで近隣の野山を歩き、お寺を訪ねたりして、リフレッシュし、英気を養うことが大事です。

皆さんは如何ですか。5月の例会では尾張日出夫氏の山歩きのお話が予定されています。自由に山を歩き、自然の中で過ごす醍醐味をぜひとも伺いたいですね。

4月の在籍者		例会出席		BFポイント		ファンド	
メン	12	当クラブ	3	現金	0	スマイル	0
休会中	3	ビジター	6	切手(円)	0	オークション	0
メーカー		ゲスト	0				
合計	9	出席率(%)	33	累計	0	累計	0

今月の強調テーマ

5月の強調テーマ： EF/JEF

EF=Endowment Fund の略で国際ワイズ運動の発展のため国際協会の特別基金です。

個人・クラブが記念すべき出来事・行事・慶弔事などの折り、寄付金を国際協会に送金し積み立てます。「基金評議会」が管理し、その運用益を利用する。US\$120以上の寄付をされますと国際協会が永久保管する「ゴールドブック」に記載される。国際協会にはこの基金の推進委員会があり、東日本区では国際・交流事業主任がその推進を担当しています。

JEF=Japan East Y's Men's Fund の略で「東日本区ワイズ基金」です。

東日本区ワイズ運動の継続的奉仕活動を支えるため、個人・クラブが記念すべき出来事・行事・慶弔事等などのときの拠金が基になっている。寄付された方の氏名とその理由を「奉仕帳」に記載し、永久保管されます。

4月例会の報告など

スマイリングクラブの4月例会は4月21日(水) 19時~20時30分にZoomにより開催しました。

1. 参加者は、下記の9名でした。(内訳・敬称略)

*町田スマイリング

太田勝人、尾張日出夫、為我井輝忠
(ビジター)

*多摩みなみ：石田孝次

*東京：江口耕一郎、長澤弘、佐藤茂美

*町田コスモス：権藤徳彦、谷治英俊

2. クラブの現況・行事等について(太田勝人さん)

(1) 7月から始まる松香年度について

(2) 9月11日第25回東新部部大会の準備について
プログラムとチラシについて

(3) 運営上の諸問題についてご報告頂きました。

①会費入金の現況について

②会の行事への参加状況について

③クラブ組織の法人化について

3. プランター講座のご紹介

多摩みなみクラブの石田孝次様から藤田智講師によるプランター講座の内容についてアピールして頂きました。楽しい講座なので皆様からのご参加を期待しています。

4. 今月の卓話：「中国のキリスト教会を訪ねて」

為我井輝忠(町田スマイリング)

為我井会長が約30年に亘って社会主義国である中国でのキリスト教の実情について、現地で調査された実情と歴史等々に講話をして頂きました。プロテスタントとカソリック合わせて約9千万人に及ぶことなど

興味深く貴重なお話しでした。なお、今号から為我井会長の「中国とキリスト教をめぐる」と題した記事を連載しますので是非お読み下さい。

私の山と百名山

尾張日出夫

私の趣味の一つに登山があります。他に写真や西洋史、文学作品の読書なども大好きで趣味として楽しんでいます。今回は登山についてお話をさせていただきます。

一昨年暮れ頃に脊柱管狭窄症になり、以来登山どころでは無くなり、情けない身体になりましたが、山への憧憬の灯は消えることなく点り続けています。

私が山好きになったきっかけは群馬県富岡市に工場疎開をしていた頃(昭和19年~24年)に遡ります。

父は、山野草が好きで時々自転車の荷台に私を乗せて郊外の城山(ジョウヤマ)で栗や野草を採集しました。収穫した野菜や野花は母に渡して、食用や花瓶に飾りました。このささやかな体験で私にとって山が親しいものになりました。富岡の小学校に入学し、その後東京に戻り、北区滝野川の小学校2年生になり、父の仕事の関係で品川区に転居したのは小学校4年生の時でした。その頃、父に連れられて奥多摩の山々へ登ったことで登山の厳しさと楽しさを知りました。高校卒業後信用金庫に就職、夜間は明治学院大学に通学しました。

沢登りの体験

その頃、職場の先輩から『沢登りを教えるから一緒に登ろう』と誘われて丹沢・水無川のモミソ沢に登りました。これが沢登りの初体験でした。沢登りが私の身体に合っていたのか、スイスイと登攀できたので先輩から褒められて、以来沢登りに夢中になりました。20歳の時に職場の同期の友人と登った丹沢・四十八瀬川本沢の詰めで滑落事故を起こして新聞沙汰になりました。実は、この沢は入山禁止地域だったのですが、悔しかったので、その後一人で同じ沢を目指して今度は無事登攀できました。沢登りの単独行は、危険な行為なので、怖い物知らずの未熟者の若気の至りでした。

以後、沢登り熱はさめましたが、登山はとしては仲間が増えて生涯の趣味になりました。

日本百名山

ハイキングコースを辿るだけでは飽き足らず、より高い山に目標を定めて登るようになりましたが、そこで名著「日本百名山」に出会いました。深田久弥さん

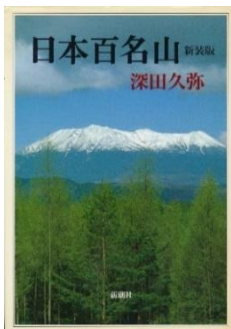


が書いた「日本百名山」の初版は1964年7月に新潮社で出版され、第16回読売文学賞（評論・伝記賞）を受賞しています。深田さんが名山選定の条件として次の三つを挙げています。

1. 概ね1500m以上であること
2. 姿形が秀麗或いは風格があること
3. 歴史的な事跡や宗教的に崇められていること

本書は山好きの人達がバイブルのように信奉していて、これから登る登山の手引き書のようになっています。私も、この本を参考にしましたが、忙しい職場だったので実際に登れたのは内52座に過ぎません。

昭和39年に、勤務先でコンピューターを導入して預金のオンラインシステムを開発することになり、私



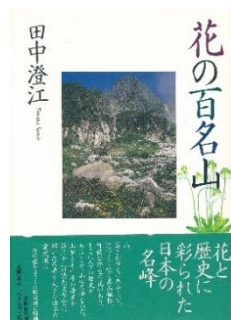
は所謂金融機関らしい職務から、システム開発の職務に転換しました。職場の仲間は大学の数学科出身者ばかりでした。文化系は私一人だけでしたので、内心負ける物かと気張りましたが、同じ目標に向かって突っ走っている内に生涯の友になりました。

その内に、職場の仲間を登山に誘い、いつの間にか同好会のようになり、社外の友人も仲間になり会員が50人ほどの登山クラブに成長して今日に至っています。気の向くままに好きな山に何度も登りましたし、親しい山小屋の主人に会うために度々登ったので百名山の登頂数としては一向に増えませんでした。定年後、4年ほど在籍して退職後は登山の小遣い稼ぎに伊勢原郊外で3年ほど遺跡発掘のアルバイトをしました。発掘の仕事は土器などの埋蔵物を壊さぬように掘り出す繊細な仕事ですが、大量の土を掘るので土運びの土方仕事でもありました。此处でも登山マニアの友人ができて会員になりました。

花の百名山

登山好きの作家として知られる田中澄江さんの著書「花の百名山」をご存知でしょうか？

田中澄江さんは、東京府北豊島郡生まれ。小学校1年の時に自宅近くの小川の畔で、父上が遠くに小さく



見える富士山を指さして『お前もいまに登りなさい』と言われたそうです。それから程なく父上は肺結核で亡くなりました。享年40歳の若さでした。その後、小学校5年の時に遠足で高尾山に登り、山頂から聳えて見える富士山を眺めた時に、父上が「そこに居る」と直感して滂沱の涙を流したそうです。

この時から登山には父上に会いに行くと言う意味が加わり生涯に亘って登山を続けたのです。

学校の教師を務めるようになってからは月給と言う収入があるので土日には欠かさず山に登ったそう

です。田中澄江さんが書いた「花の百名山」は1980年（昭和55年）に発表され、1980年に第32回読売文学賞（随筆・紀行賞）を受賞しています。山野草に詳しい田中さんが盛んに山に登り、足で書いたと言われるほどの名著です。花の百名山の山々は日本百名山とは異なる基準で選ばれています。主にその山ならではの花を基準に選んでいます。山には色々な花が咲いているので、固有種の花ではなくても壮大な花の群落があるなど特徴のある花の山が取り上げられています。本書は私の愛読の一冊として書棚に飾っています。

大分脱線して長くなりましたので、登山クラブ活動の話はまたの機会に譲らせて頂きます。

中国とキリスト教をめぐる①

～ 清水安三と崇貞学園 為我井 輝忠

12年前、山崎朋子著『朝陽門外の虹—崇貞女学校の人びと』（2003年、岩波書店刊）を読む機会があった。この本で戦前中国の北京に日本人が創設した崇貞（すうてい）女学校という学校があったことを教えられた。創設者は清水安三であった。

清水安三（1891～2088）と言えば、東京町田市にある桜美林学園の創設者であり、また日本のキリスト教界でもよく知られた人物で、私も桜美林大学との関連で彼のことは知っていた。しかし、戦前北京に崇貞女学校を作り、教育活動に力を注いでいたことまでは迂闊にも知らなかった。

この女学校のことについて大いに関心を覚え、多少の資料を漁り、さらに桜美林大学の紹介をいただいて2011年7月、町田に住む友人たちを誘って、この学校の後進である「陳経綸中学校」を訪問した。北京の朝陽門外と言えば、今では北京のほぼ中心にあるが、昔はずいぶん中心街から外れたところにあったものと思われる。



↑ 桜美林大学構内にある清水安三の銅像

北京在住の桜美林出身者の留学生に案内及び通訳をしていただき、訪問した。1921年創設された時は崇貞平民工読学校という名前であったが、さらに崇貞女子学園と変った。戦後、香港人の寄付を得て陳経綸中学校となり、さらに中華人民共和国の成立により公立

学校となるなど、様々な変遷をしながら名前も何度も変えてきた。しかしながら、学校そのものは存続してきた。

構内を案内されて見て回ると、清水安三の銅像や記念碑、更には資料室まで連綿と保存されているのには驚いた（ただ、銅像や記念碑は戦後のものである）。普通、終戦と共に占領国に関係のあるものはすべて破壊され、あとに残すということはあるに、この学校のように日本とかかわりがあるにも関わらず、あえて残されていることに大きな感銘を受けた。それは清水安三と言う人物がいたからではないだろうか。

清水安三とはどんな人物だったのだろうか。ウィキペディアによると、彼は滋賀県出身で、中学時代にウィリアム・メリル・ヴォーリズの感化を受け、同志社大学神学部に進学。中国へ渡って大連と瀋陽でキリスト教の布教活動をして数年後、アメリカのオベリン大学に留学した（オベリンの名はのちに彼が創設した桜美林学園の名前ともなった）。帰国後、再度中国へ渡

り、北京でスラム化していた地域で教育を受けることが出来ない女性のための学校を設けた。生徒たちからは一切お金を受け取らず、生活の手段となるような刺繍を教え、後には朝鮮人の子供たちも受け入れた。後には日本人の子供も入るようになった。彼が名づけた崇貞学園の「崇貞」とは「貞操を重んじる」という意味で、教育が貧しいが故に苦界に落ちるたち女性たちを救う手段と考えて、教育界で働いた。しかし、24年間続いた学園も終戦を迎え、封鎖しなければならなかった。

1945年に日本に帰国した清水安三は1年後に町田の郊外に広大な土地を購入し、再び理想の学園建設に立ち上がり、ここに桜美林学園を創設した。私は生前の清水安三にお会いしたことはないが、書物や周囲の人々を通して彼の足跡と人となりを知り、大いに師として仰ぎ見る先達であると言ってもよさそうである。（続く）

YMCA NEWS

新年度が始まりましたが、コロナの影響はまだまだ継続しています。しばらくの期間このような話をしているような気がします。

長い期間苦しめられるとは誰もが思わなかった、と言うのが皆さんの偽らざるを得ない気持ちではないでしょうか。コロナの影響が長引くにつれ、社会の様々な活動、人の心の動揺など至る所に影響が出てしまっています。特に子どもたち、女性への影響が大きく出てしまったといわれています。

社会的弱者にしわ寄せが行ってしまった例かと思えます。その弱い立場の皆さんと、いつもYMCAは共にありたいと願っています。具体的には人生の伴走者としての働きを担うことがこのよう時代だからこそ必要です。

子どもたちに対し、ともに歩む・一緒にいる・いつも見守っている・共に成長する・などの事は現在のYMCA活動において大きな屋台骨を担っています。それを具現化している部分が、日常的な活動やキャンプ活動など全てにわたって「伴走者」としてのエキスが含まれています。とは言え、ワイズの活動にも伴走者としての意識の構築が必要だと考えています。YMCAとワイズが共にあり、成長してゆくことができるよう願ってやみません。

この道は主が備えた道だということは良く言われます。それは自己に対する試練でも修行でもない。主が最終的に自分の手を取っていて支えているという安心感にもつながるものかと思えます。

緊急事態宣言がの継続か気になりますが、その目先のことにとらわれることよりも先を見据えて歩みを進めたいものです。YMCAでも、専門学校・インターナショナルスクール・幼稚園・保育園・学童クラブなどの運営に影響が少なからずあります。

このような時にあって、弱者に寄り添った活動を、コロナの感染に最大の配慮しながら行っています。

（諏訪治邦 記）

これからの予定

- | | | | |
|---|---------------|------------------|-------------|
| ① | 2021年5月19日(水) | 例会 (Zoom例会) | 19:00~21:00 |
| ② | 2021年6月1日(火) | 三多摩合同例会 (Zoom例会) | 18:30~20:30 |
| ③ | 2021年6月12日(土) | 東日本区大会 (Zoomの予定) | |
| ④ | 2021年6月16日(水) | 例会 (Zoom例会) | 19:00~21:00 |

○例会日 第3水曜日 19:00~21:00 会場：まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

○第2例会 第1土曜日 13:30~15:00 会場：まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

事務所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 太田勝人氣付

会費振込口座：城南信用金庫、玉川学園支店（支店番号：075）

普通預金 口座番号：155093 口座名義：トウキョウマチダスマイリングワイズメンズクラブ